



■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限（2018年12月21日設定）	
運用方針	この投資信託は、信託財産の中長期的な成長を目指して、積極的な運用を行うことを基本とします。	
主要投資対象	当ファンド	スパークス・韓国厳選投資マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	スパークス・韓国厳選投資マザーファンド	韓国の金融商品取引所に上場している株式(これに準ずるものを含みます。)を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンド	① 株式への実質投資割合には制限を設けません。 ② 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	スパークス・韓国厳選投資マザーファンド	① 株式への投資割合には制限を設けません。 ② 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 (1) 分配対象額の範囲 経費控除後の利子・配当収入および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 (2) 分配対象収益についての分配方針 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないこともあります。 (3) 留保益の運用方針 留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

スパークス・ 韓国株ファンド

愛称 **韓国厳選投資** 特化型

第5期 運用報告書(全体版) (決算日 2023年12月18日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、『スパークス・韓国株ファンド』は、このたび、第5期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社
東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス
＜ お問い合わせ先 ＞
リテール・ビジネス・デベロップメント部
電話：03-6711-9200(代表)
受付時間：営業日の9時～17時
ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			KOSPI(韓国総合株価指数) (円ベース)		株式 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
(設定日) 2018年12月21日	円 10,000	円 -	% -	203.99	% -	% -	% -	百万円 616
1期(2019年12月18日)	9,046	0	△ 9.5	205.80	0.9	94.0	0.9	351
2期(2020年12月18日)	14,117	0	56.1	260.67	26.7	97.1	-	573
3期(2021年12月20日)	15,572	0	10.3	282.17	8.2	93.9	-	619
4期(2022年12月19日)	11,853	0	△23.9	247.31	△12.4	97.5	-	442
5期(2023年12月18日)	14,067	0	18.7	283.17	14.5	94.6	-	103

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 設定日の基準価額は設定当初の投資元本です。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「投資証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注4) 設定日のKOSPI(韓国総合株価指数)(円ベース)は、設定日前営業日(2018年12月20日)の値です。

(注5) 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「KOSPI(韓国総合株価指数)(円ベース)」です。

(注6) KOSPI(韓国総合株価指数)は、韓国証券取引所の全上場銘柄(普通株)からなる時価総額加重平均指数です。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

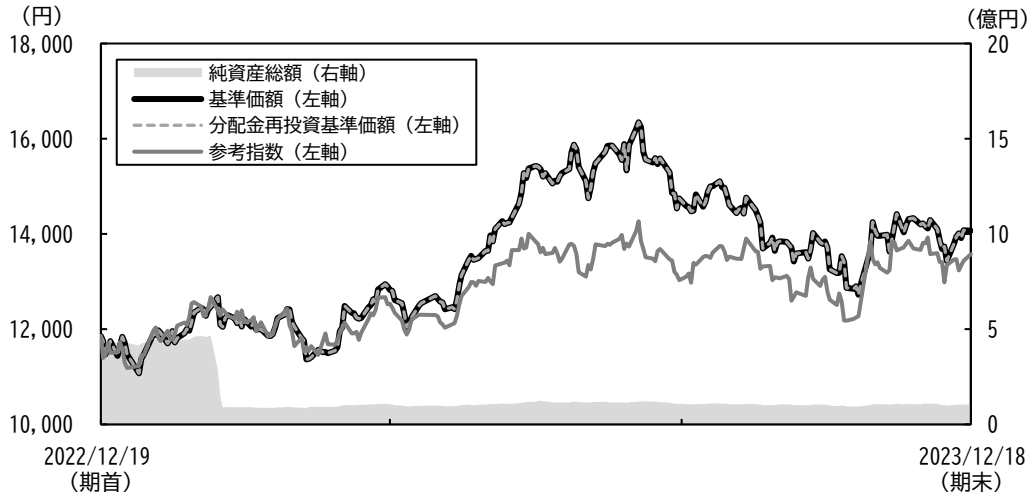
年月日	基準価額		KOSPI(韓国総合株価指数) (円ベース)		株式 組入比率	投資証券 組入比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率			
(期首) 2022年12月19日	円 11,853	% -	247.31	% -	% 97.5	% -
12月末	11,466	△ 3.3	233.36	△ 5.6	97.7	-
2023年 1月末	12,417	4.8	256.02	3.5	98.1	-
2月末	11,855	0.0	248.38	0.4	96.3	-
3月末	12,487	5.3	253.21	2.4	89.5	-
4月末	12,243	3.3	254.50	2.9	93.0	-
5月末	13,969	17.9	271.28	9.7	95.8	-
6月末	15,279	28.9	281.28	13.7	97.4	-
7月末	16,208	36.7	293.44	18.7	95.9	-
8月末	14,997	26.5	281.56	13.8	95.9	-
9月末	13,844	16.8	272.60	10.2	91.9	-
10月末	12,900	8.8	255.44	3.3	94.5	-
11月末	14,113	19.1	290.51	17.5	91.4	-
(期末) 2023年12月18日	14,067	18.7	283.17	14.5	94.6	-

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「投資証券組入比率」は実質比率を記載しております。

■ 運用経過

1) 基準価額等の推移 (2022年12月20日～2023年12月18日)



第5期首 : 11,853円

第5期末 : 14,067円(既払分配金0円)

騰落率 : 18.7%(分配金再投資ベース)

- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「KOSPI (韓国総合株価指数) (円ベース)」です。
- ※ 参考指数は期首(2022年12月19日)の基準価額に合わせて指数化しております。

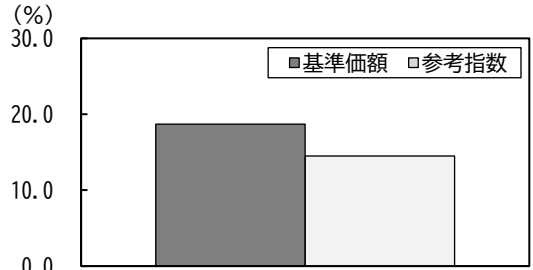
2) 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、スパークス・韓国厳選マザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)への投資を通じて、韓国の優良企業に厳選投資を行いました。マザーファンドが投資している銘柄は上昇した銘柄も下落した銘柄もありましたが、上昇したものの寄与のほうが大きく、プラスに寄与しました。また韓国ウォンが円に対して上昇したこともプラスに寄与しました。

3) ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は、「KOSPI(韓国総合株価指数)(円ベース)」です。

当ファンドの基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)



第5期
(2022年12月20日～2023年12月18日)

(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

■ 投資環境

インフレの進行が鈍化したことを受け、FRB(米国連邦準備制度理事会)の利上げ終了に対する期待感が広がったことが、世界金融市場の安定化に寄与しました。さらに、中国経済再開への期待と不動産規制の緩和、先進国の景気回復期待を受けて、韓国株式市場は上昇しました。

■ ポートフォリオ

<スパークス・韓国株ファンド>

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、韓国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。

当期のマザーファンドの組入比率は高水準を維持しました。このため基準価額は、マザーファンドに組み入れられた資産の変動の影響を大きく受けました。

<スパークス・韓国厳選投資マザーファンド>

ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別して投資を行いました。韓国の構造的変化を捉え、将来の成長機会に対応できる優良な韓国企業に投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。

(主なプラス要因)

当期のパフォーマンスに寄与した主な銘柄は、SK hynix Inc、JYP Entertainment Corp、Leeno Industrial Inc.などです。

SK hynix Inc.(半導体・半導体製造装置)は、メモリの需要が堅調であることや、在庫の減少による需要があることからDRAM(揮発性の半導体メモリの一種)販売量が市場予想を上回り上昇しました。

JYP Entertainment Corp(メディア・娯楽)は決算が好調で、収益と株価がいずれも安定した上昇傾向を示しました。同社所属ボーイズグループStray Kidsの7枚目のミニアルバムの販売が好調で、また所属ガールズグループITZYのアルバム売上も2作連続で100万枚を超えました。ワールドツアーのコンサートや商品の売上増加を背景に、同社のアルバム売上高は前年と比べて増加しています。

Leeno Industrial Inc.(半導体・半導体製造装置)は、世界的に大規模研究開発がメモリ以外の分野に移行した影響により売上高は減少となりましたが、研究開発で使用する検査用ソケットの需要が増加したこと、主要顧客の新モデル投入に伴って量産時に使用する検査用ソケットの需要が回復したことなどにより株価が上昇しました。

(主なマイナス要因)

当期のパフォーマンスにマイナスに影響した主な銘柄は、RAY CO. LTD.などです。

歯科用機器とソリューションを開発するデジタルデンティストリー(Digital Dentistry)企業であるRAY CO. LTD.(ヘルスケア機器・サービス)は、北米における新規ディーラーへの切り替えや、部品供給が滞るなかでの欧州向け高級製品出荷の遅延、子会社のCEOの交代により日本事業が一時的に混乱していることなどにより株価が下落しました。しかしながら、米国市場で強力なポジションを確立している北米の新規ディーラーとのシナジー効果と日本事業の正常化が後押しする形で、同社の収益は増加すると予想しています。

■ 今後の運用方針

<スパークス・韓国株ファンド>

マザーファンドの組入比率は、引き続き高水準を維持し、信託財産の中長期的な成長を目標に、積極的な運用を行います。

<スパークス・韓国厳選投資マザーファンド>

引き続き、ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別して投資を行います。韓国の構造的変化を捉え、将来の成長機会に対応できる優良な韓国企業に投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 分配金

当期の分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案して見送らせていただきました。留保益につきましては、信託財産中に留保し、当ファンドの基本方針及び今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

〔 分配原資の内訳 〕

(単位：円 1万口当たり・税込み)

項 目	第5期 (2022年12月20日～ 2023年12月18日)
当期分配金 (対基準価額比率)	－ (ー%)
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	4,444

(注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注2) 該当欄に数値がない場合は「－」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2022年12月20日～2023年12月18日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社)	243円 (133)	1.803% (0.987)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(104)	(0.771)	・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0.045)	・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	115 (115)	0.853 (0.853)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・有価証券等を売買する際に発生する費用
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	61 (61)	0.452 (0.452)	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ・有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	75 (61)	0.556 (0.452)	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(4)	(0.030)	・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(10)	(0.074)	・法定書類等の作成、印刷費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	・信託事務の処理等に関するその他の諸費用
合 計	494	3.664	

期中の平均基準価額は13,482円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

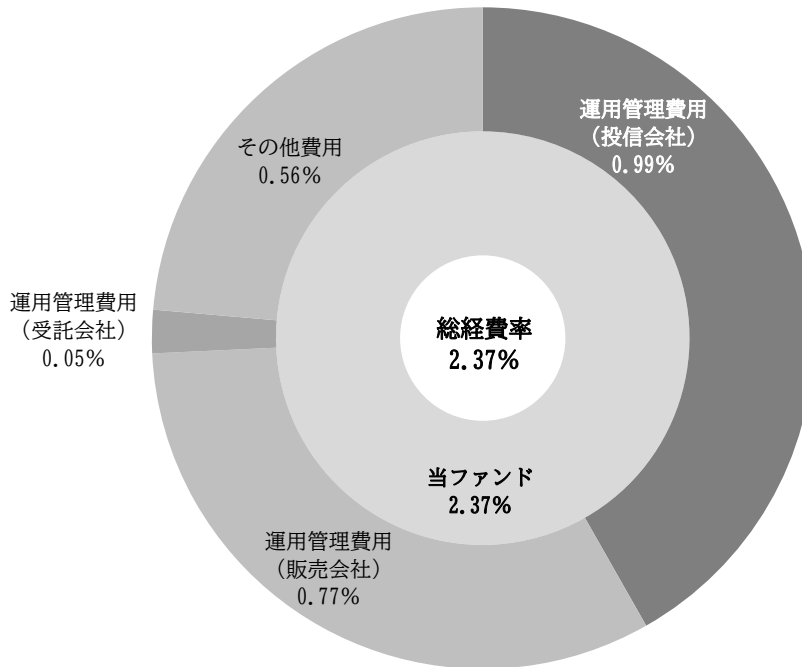
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.37%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2022年12月20日から2023年12月18日まで)

項 目	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
スパークス・韓国厳選投資マザーファンド	千口 65,357	千円 99,690	千口 342,235	千円 476,774

(注) 単位未満は切り捨て。

■ 親投資信託における株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	386,854千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	153,971千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	2.51

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

■ 親投資信託における主要な売買銘柄 (2022年12月20日から2023年12月18日まで)

外国株式

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
MITECH Co., Ltd.	5.213	6,307	1,209	SK hynix Inc.	5.743	53,741	9,357
RAY CO. LTD.	1.562	5,050	3,233	CS Wind Corp.	4.392	30,142	6,863
				Leeno Industrial Inc.	1.693	29,310	17,312
				JYP Entertainment Corp	2.962	22,060	7,447
				Samsung Electronics Co Ltd Pfd Non-Voting	3.668	21,301	5,807
				Kyung Dong Navien Co., Ltd.	5.673	20,368	3,590
				Suheung Co. Ltd.	4.897	16,865	3,444
				Park Systems Corp.	1.283	16,532	12,886
				Hansol Chemical Co., Ltd	0.735	15,952	21,703
				JoyCity Corp.	28	14,930	533

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等（2022年12月20日から2023年12月18日まで）

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況（2022年12月20日から2023年12月18日まで）

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況（2022年12月20日から2023年12月18日まで）

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2023年12月18日現在)

親投資信託残高

項 目	前 期 末	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
スパークス・韓国厳選投資マザーファンド	千口 342,563	千口 65,685	千円 103,256

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2023年12月18日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2023年12月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
スパークス・韓国厳選投資マザーファンド	千円 103,256	% 98.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,503	1.4
投 資 信 託 財 産 総 額	104,759	100.0

(注1) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお12月18日における邦貨換算レートは、1韓国ウォン=0.1095円です。

(注2) スパークス・韓国厳選投資マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(99,373千円)の投資信託財産総額(103,428千円)に対する比率は96.1%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年12月18日現在)

項目	当期末
(A)資産	104,759,713円
コール・ローン等	1,330,910
スパークス・韓国厳選投資 マザーファンド(評価額)	103,256,878
未収入金	171,925
(B)負債	1,199,462
未払解約金	171,925
未払信託報酬	968,600
未払利息	3
その他未払費用	58,934
(C)純資産総額(A-B)	103,560,251
元本	73,621,297
次期繰越損益金	29,938,954
(D)受益権総口数	73,621,297口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,067円

■ 損益の状況

当期 (自2022年12月20日 至2023年12月18日)

項目	当期
(A)配当等収益	△ 259円
支払利息	△ 259
(B)有価証券売買損益	9,209,427
売買損益	21,985,398
売買損	△ 12,775,971
(C)信託報酬等	△ 2,854,659
(D)当期損益金(A+B+C)	6,354,509
(E)前期繰越損益金	△ 3,233,346
(F)追加信託差損益金	26,817,791
(配当等相当額)	(24,846,098)
(売買損益相当額)	(1,971,693)
(G)合計(D+E+F)	29,938,954
(H)収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	29,938,954
追加信託差損益金	26,817,791
(配当等相当額)	(25,139,052)
(売買損益相当額)	(1,678,739)
分配準備積立金	7,581,766
繰越損益金	△ 4,460,603

<注記事項(当期の運用報告書作成時では監査未了)>

① 期首元本額	373,293,957円
期中追加設定元本額	72,207,788円
期中一部解約元本額	371,880,448円

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

② 分配金の計算過程

項目		第5期
費用控除後の配当等収益額	A	1,309,326円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	B	-円
収益調整金額	C	25,139,052円
分配準備積立金額	D	6,272,440円
当ファンドの分配対象収益額 (E=A+B+C+D)	E	32,720,818円
当ファンドの期末残存口数	F	73,621,297口
1万口当たり収益分配対象額 (G=E/F×10,000)	G	4,444.47円
1万口当たり分配金額	H	-円
収益分配金金額 (I=G×H/10,000)	I	-円

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	－円
----------------	----

■ お知らせ

該当事項はありません。

- ※ 当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては35%を上限として運用を行います。
- ※ 当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

スパークス・韓国厳選投資マザーファンド

第 5 期

決算日 2023年12月18日

(計算期間：2022年12月20日～2023年12月18日)

「スパークス・韓国厳選投資マザーファンド」は、2023年12月18日に第5期の決算を行いました。以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第5期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して、積極的な運用を行うことを基本とします。
主要投資対象	韓国の金融商品取引所に上場している株式を主要投資対象とします。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額		KOSPI(韓国総合株価指数) (円ベース)		株式 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
(設定日) 2018年12月21日	円 10,000	% -	203.99	% -	% -	% -	百万円 616
1期(2019年12月18日)	9,245	△ 7.6	205.80	0.9	94.2	0.9	350
2期(2020年12月18日)	14,729	59.3	260.67	26.7	97.2	-	572
3期(2021年12月20日)	16,597	12.7	282.17	8.2	94.1	-	618
4期(2022年12月19日)	12,882	△22.4	247.31	△12.4	97.8	-	441
5期(2023年12月18日)	15,720	22.0	283.17	14.5	94.8	-	103

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の投資元本です。

(注2) 設定日のKOSPI(韓国総合株価指数)(円ベース)は、設定日前営業日(2018年12月20日)の値です。

(注3) 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「KOSPI(韓国総合株価指数)(円ベース)」です。

(注4) KOSPI(韓国総合株価指数)は、韓国証券取引所の全上場銘柄(普通株)からなる時価総額加重平均指数です。

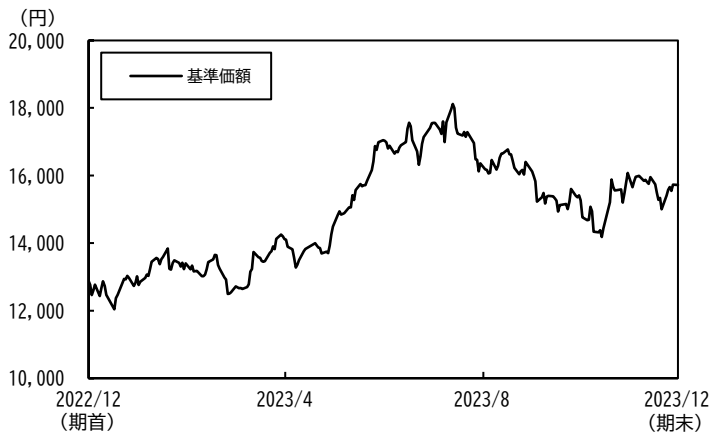
■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		KOSPI(韓国総合株価指数) (円ベース)		株 式 組入比率	投資証券 組入比率
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期 首) 2022年12月19日	円	%		%	%	%
12月末	12,882	—	247.31	—	97.8	—
2023年 1月末	12,468	△ 3.2	233.36	△ 5.6	97.9	—
2月末	13,526	5.0	256.02	3.5	98.2	—
3月末	13,021	1.1	248.38	0.4	96.2	—
4月末	13,737	6.6	253.21	2.4	89.3	—
5月末	13,493	4.7	254.50	2.9	92.7	—
6月末	15,416	19.7	271.28	9.7	95.3	—
7月末	16,895	31.2	281.28	13.7	97.6	—
8月末	17,960	39.4	293.44	18.7	96.0	—
9月末	16,650	29.3	281.56	13.8	95.8	—
10月末	15,397	19.5	272.60	10.2	91.7	—
11月末	14,378	11.6	255.44	3.3	94.1	—
12月末	15,751	22.3	290.51	17.5	90.9	—
(期 末) 2023年12月18日	15,720	22.0	283.17	14.5	94.8	—

(注) 騰落率は期首比です。

■ 基準価額等の推移

当期末の基準価額は15,720円となり、第5期の騰落率は22.0%となりました。



◆運用の詳細につきましては、2～5 ページをご参照ください。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当期 2022年12月20日～2023年12月18日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	126円 (126)	0.846% (0.846)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・ 有価証券等を売買する際に発生する費用
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	66 (66)	0.443 (0.443)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ・ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	67 (67)	0.450 (0.450)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・ 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	・ 信託事務の処理等に関するその他の諸費用
合 計	259	1.739	

期中の平均基準価額は14,891円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 期中の売買及び取引の状況 (2022年12月20日から2023年12月18日まで)

外国株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	韓 国	百株 67	千韓国ウォン 108,777	百株 1,215	千韓国ウォン 3,616,798

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	386,854千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	153,971千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	2.51

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

■ 主要な売買銘柄 (2022年12月20日から2023年12月18日まで)

外国株式

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
MITECH Co., Ltd.	千株 5.213	千円 6,307	円 1,209	SK hynix Inc.	千株 5.743	千円 53,741	円 9,357
RAY CO. LTD.	1.562	5,050	3,233	CS Wind Corp.	4.392	30,142	6,863
				Leeno Industrial Inc.	1.693	29,310	17,312
				JYP Entertainment Corp	2.962	22,060	7,447
				Samsung Electronics Co Ltd Pfd Non-Voting	3.668	21,301	5,807
				Kyung Dong Navien Co., Ltd.	5.673	20,368	3,590
				Suheung Co. Ltd.	4.897	16,865	3,444
				Park Systems Corp.	1.283	16,532	12,886
				Hansol Chemical Co., Ltd	0.735	15,952	21,703
				JoyCity Corp.	28	14,930	533

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等（2022年12月20日から2023年12月18日まで）

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況（2022年12月20日から2023年12月18日まで）

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況（2022年12月20日から2023年12月18日まで）

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2023年12月18日現在)

外国株式

銘柄	期首 (前期末)	当 期 末			業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(韓国)	百株	百株	千韓国ウォン	千円	
Hansol Chemical Co., Ltd	8	0.88	18,788	2,057	素材
ASIA CEMENT Co., Ltd.	21	—	—	—	素材
TK Corporation	70	20	31,470	3,446	資本財
Kyung Dong Navien Co., Ltd.	63	6	31,403	3,438	資本財
CS Wind Corp.	51	7	47,339	5,183	資本財
Youngone Corp.	23	5	26,386	2,889	耐久消費財・アパレル
CJ CheilJedang Corporation	2	0.7	22,295	2,441	食品・飲料・タバコ
Harim Holdings Co., Ltd.	126	16	11,967	1,310	食品・飲料・タバコ
Suheung Co. Ltd.	53	4	13,616	1,491	ヘルスケア機器・サービス
T&R Biofab Co., Ltd	56	12	8,925	977	ヘルスケア機器・サービス
MITECH Co., Ltd.	41	39	25,518	2,794	ヘルスケア機器・サービス
RAY CO. LTD.	—	15	33,817	3,702	ヘルスケア機器・サービス
Bioneer Corporation	15	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
DOUZONE BIZON CO.LTD	29	4	13,260	1,452	ソフトウェア・サービス
Samsung Electronics Co Ltd Pfd Non-Voting	36	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
LG Innotek Co., Ltd	3	0.67	16,549	1,812	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
Park Systems Corp.	18	5	86,661	9,489	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MiCo Ltd.	193	28	24,719	2,706	半導体・半導体製造装置
Leeno Industrial Inc.	20	3	78,967	8,646	半導体・半導体製造装置
SK hynix Inc.	66	9	127,680	13,980	半導体・半導体製造装置
Tokai Carbon Korea Co., Ltd.	9	1	14,878	1,629	半導体・半導体製造装置
Duksan Hi-Metal Co., Ltd.	41	—	—	—	半導体・半導体製造装置
ISC Co., Ltd	15	5	48,875	5,351	半導体・半導体製造装置
KCTECH CO., LTD.	28	4	11,783	1,290	半導体・半導体製造装置
KoMiCo Ltd.	33	5	30,164	3,303	半導体・半導体製造装置
NAVER Corp.	5	1	32,770	3,588	メディア・娯楽
JYP Entertainment Corp	37	7	74,997	8,212	メディア・娯楽

銘柄	期首 (前期末)	当 期 末				業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(韓国) JoyCity Corp. HYBE Co., Ltd.	百株 280 4	百株 — 2	千韓国ウォン — 61,533	千円 — 6,737	メディア・娯楽 メディア・娯楽	
小 計	株 数 ・ 金 額	1,360	212	894,367	97,933	
	銘柄数 < 比率 >	28	24	—	<94.8%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	1,360	212	—	97,933	
	銘柄数 < 比率 >	28	24	—	<94.8%>	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2023年12月18日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2023年12月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 97,933	% 94.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	5,495	5.3
投 資 信 託 財 産 総 額	103,428	100.0

(注1) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお12月18日における邦貨換算レートは、1韓国ウォン=0.1095円です。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(99,373千円)の投資信託財産総額(103,428千円)に対する比率は96.1%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年12月18日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	103,428,594 円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	5,495,312
株 式(評価額)	97,933,282
(B)負 債	171,936
未 払 解 約 金	171,925
未 払 利 息	11
(C)純 資 産 総 額(A - B)	103,256,658
元 本	65,685,037
次 期 繰 越 損 益 金	37,571,621
(D)受 益 権 総 口 数	65,685,037 口
1万口当たり基準価額(C / D)	15,720 円

< 注記事項(当期の運用報告書作成時には監査未了) >

1. 期首元本額	342,563,074 円
期中追加設定元本額	65,357,796 円
期中解約元本額	342,235,833 円
2. 期末元本の内訳	
スパークス・韓国株ファンド	65,685,037 円

■ お知らせ

該当事項はありません。

■ 損益の状況

当期 (自2022年12月20日 至2023年12月18日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	3,343,594 円
受 取 配 当 金	3,352,881
支 払 利 息	△ 9,287
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	36,486,070
売 買 損 益	52,637,090
売 買 損 益	△ 16,151,020
(C)信 託 報 酬 等	△ 761,301
(D)当 期 損 益 金(A+B+C)	39,068,363
(E)前 期 繰 越 損 益 金	98,709,586
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	34,332,744
(G)解 約 差 損 益 金	△ 134,539,072
(H)合 計(D+E+F+G)	37,571,621
次 期 繰 越 損 益 金(H)	37,571,621

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。